

国際スポーツ大会における大学教育と学生の変化 ～スポーツボランティア活動を事例にして～



神田外語大学 体育・スポーツセンター
准教授 朴 ジョンヨン

国際スポーツ大会に向けた全国外大連携の背景

- ▶ 2018平昌大会や、ラグビー2019WC、東京2020大会等 東アジアにおいて国際スポーツイベントの開催が増加。
- ▶ 今後、国内外で開催される国際スポーツ大会の増加により 学生通訳ボランティアに対するニーズの増加。
- ▶ 外大生によるスポーツボランティア活動を通して、 グローバル人材育成や外大生の魅力を社会に発信。

▶ 2014年6月 全国外大連合発足

全国外大連合

THE CONSORTIUM OF FOREIGN STUDIES IN JAPAN



▶ 2015年 8月 第1回通訳ボランティア育成セミナー開催

：

▶ 2022年 9月 第10回通訳ボランティア育成セミナー開催

全国外大連携プログラム
通訳ボランティア育成セミナー
～世界スポーツ・国際イベントに向けて～

開催日程
2015年8月24日(月)～27日(木)

受講人数
240名

受講対象
以下の大学に所属している学生
関西外国語大学 神田外国語大学
京都外国語大学 神戸市外国語大学
東京外国語大学 長崎外国語大学
名古屋外国語大学

開催場所
神田外国語大学(行楽館)

後援
文部科学省 外務省 観光庁 千原誠
2017札幌アジア冬季ユニバーシアード2017組織委員会
公益財団法人 ラグビーワールドカップ2019組織委員会
公益財団法人 日本オリンピック委員会 公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会
NPO法人 日本ボランティア・アカデミー
一般社団法人 全国外国語教育振興協会

協力
一般社団法人 エスビジテック

全国外大連携通訳ボランティア育成セミナー
神田外語大学 (2017.9.5~2022. 9.)

第1回~10回まで 受講者数

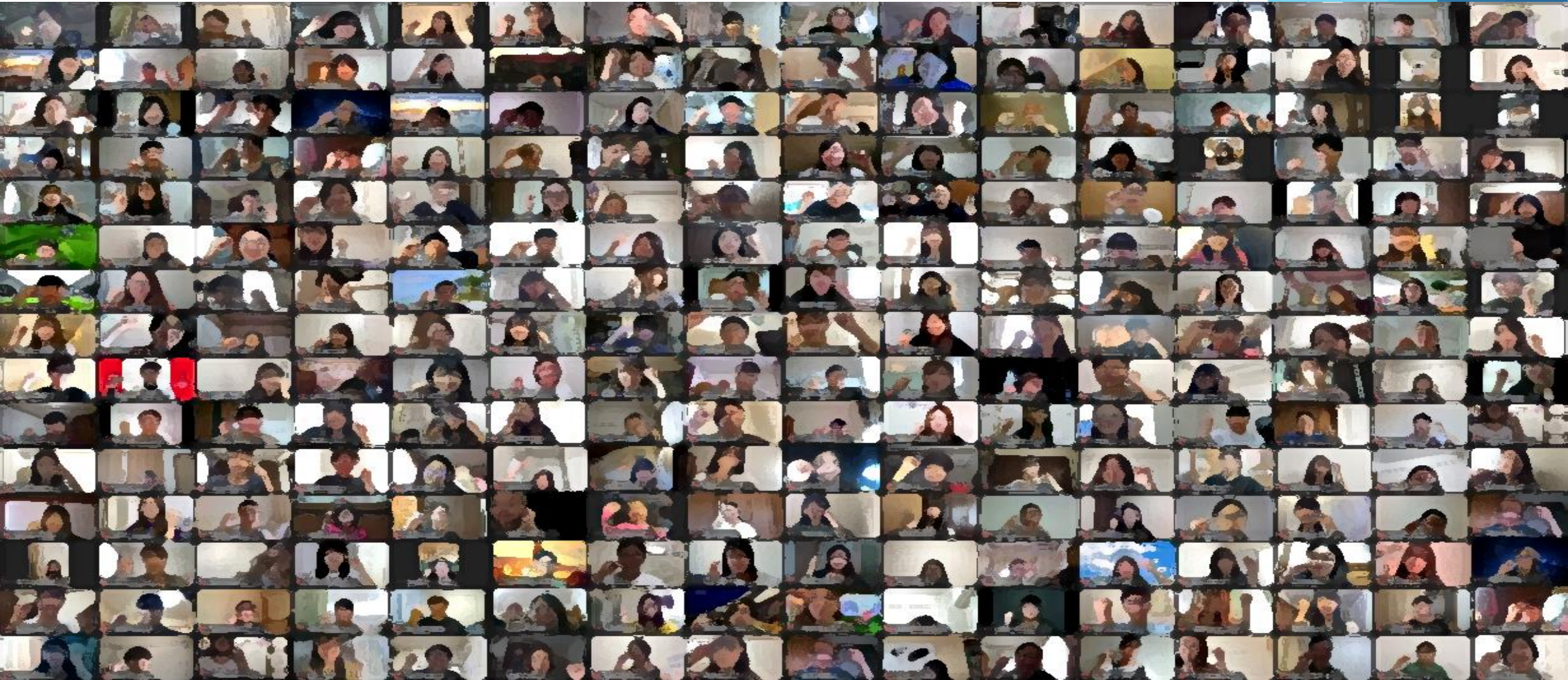
2,513名

第1回~10回まで 多言語人材バンク登録者数

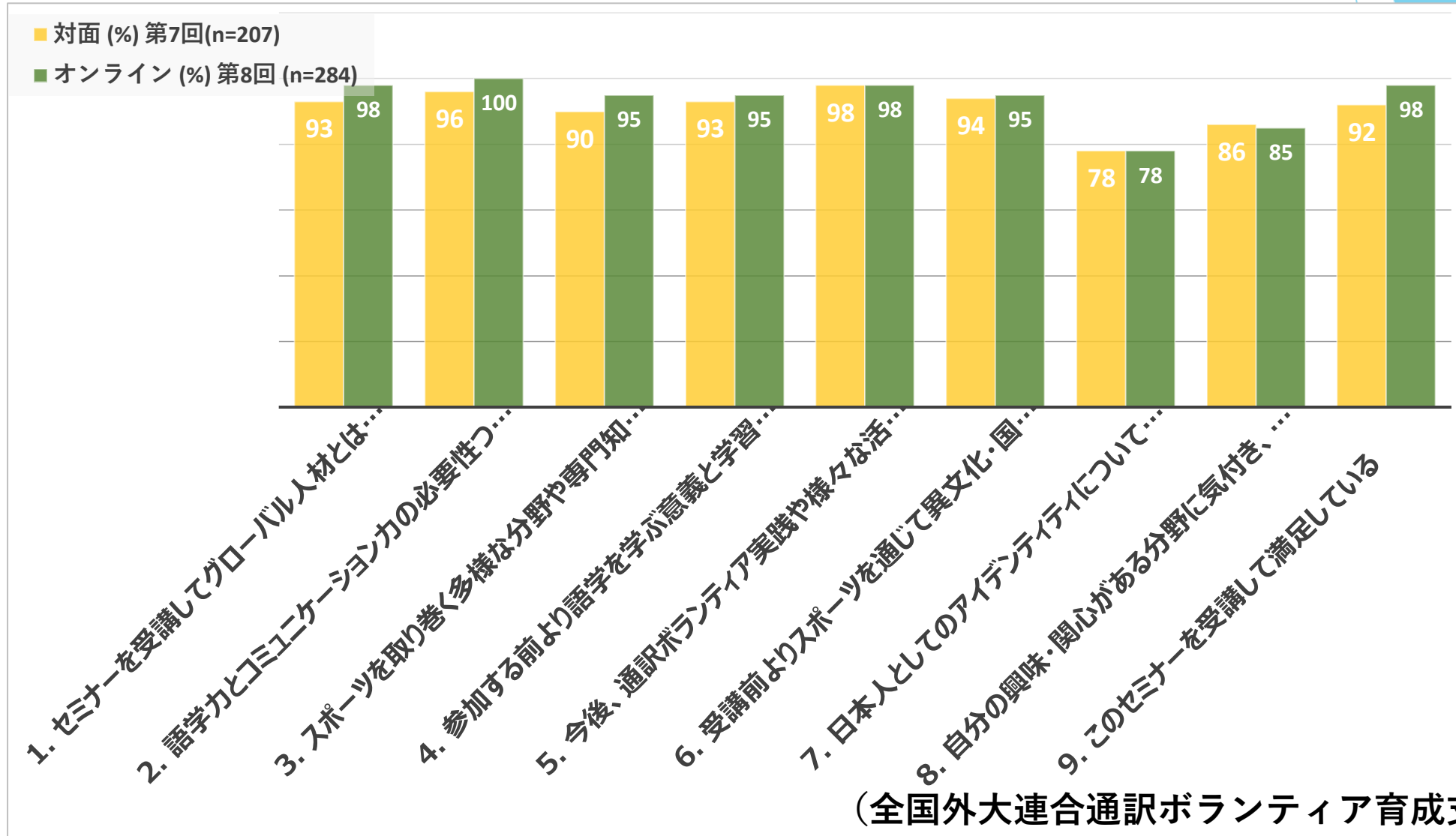
2,108名

第8回全国外大連携通Vセミナー（オンライン開催）

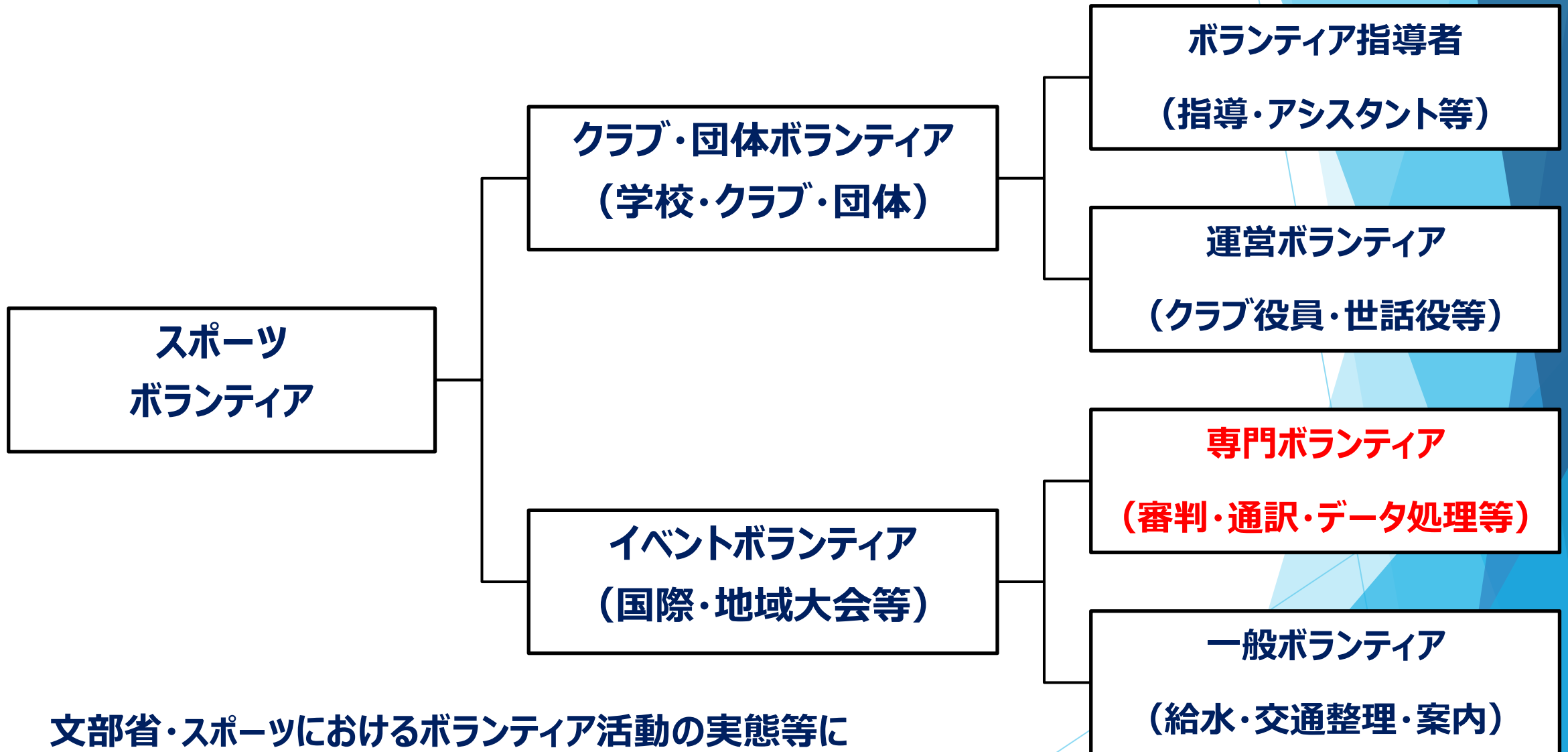
受講者284名、場所：神田外語大学



第7回（対面）・第8回（オンライン） 対面とオンラインセミナーの受講後のアンケート結果



スポーツボランティアの種類



文部省・スポーツにおけるボランティア活動の実態等に関する調査研究協力者会議 (2000)

国際スポーツ大会における通訳ボランティア教育課程

第7回
全国外大連携プログラム
通訳ボランティア
育成セミナー

ステップ1

～世界スポーツ・国際イベントに向けて～

- 多様なスポーツ理解
- 協調性、リーダー
- 異文化理解
- 通訳概論・技法
- アスリート人間力

① セミナー講座にて
学び

ステップ2



- 大会運営支援
- 外国人選手サポート
- 選手・メディアアテンド
- 式典・会議アシスタント

② ボランティアとして
経験

ステップ3

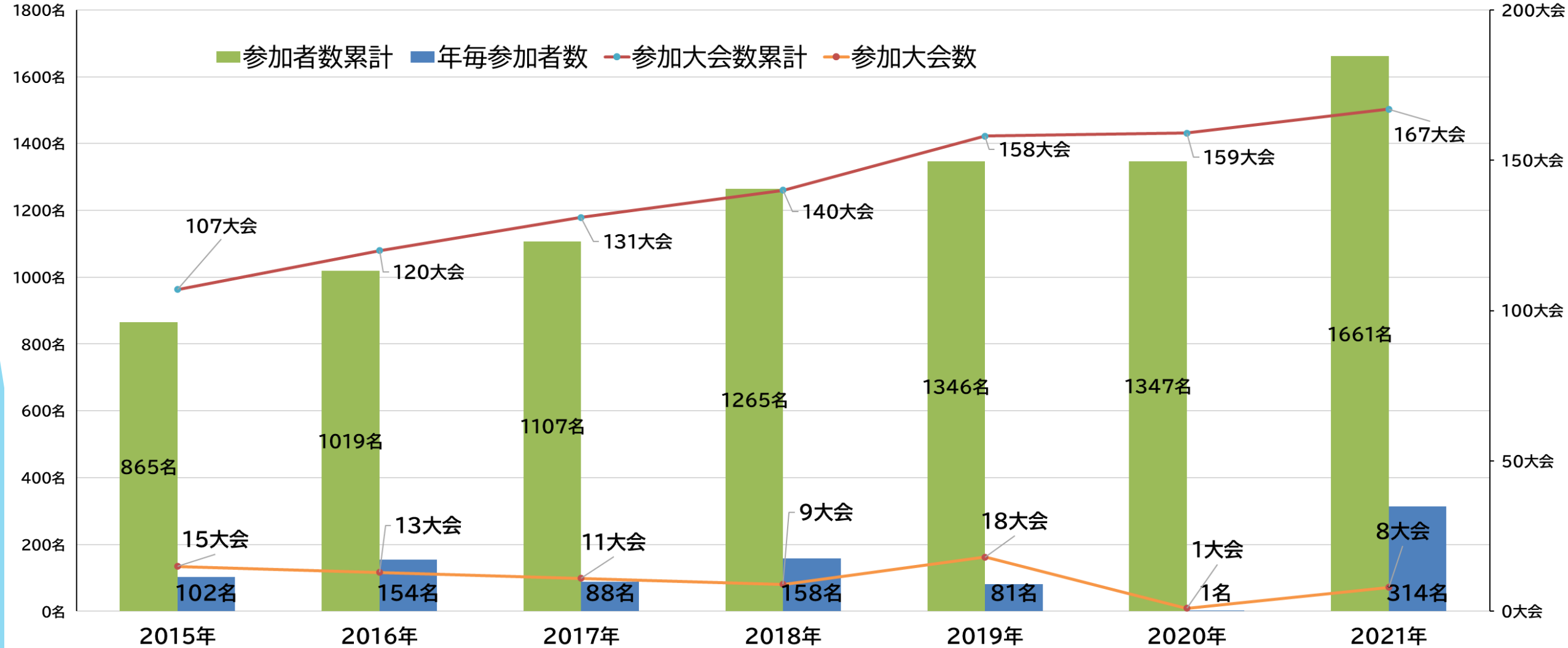


- 活動レポート・課題提出
- 発表・修了式でプレゼン
- 海外留学・インターン
- その他ボランティア活動
に継続参加

③ 振り返り・評価

国際スポーツ大会の通訳ボランティア実績

参加大会167回(2007年9月~2021年9月)、参加述べ人数1661名

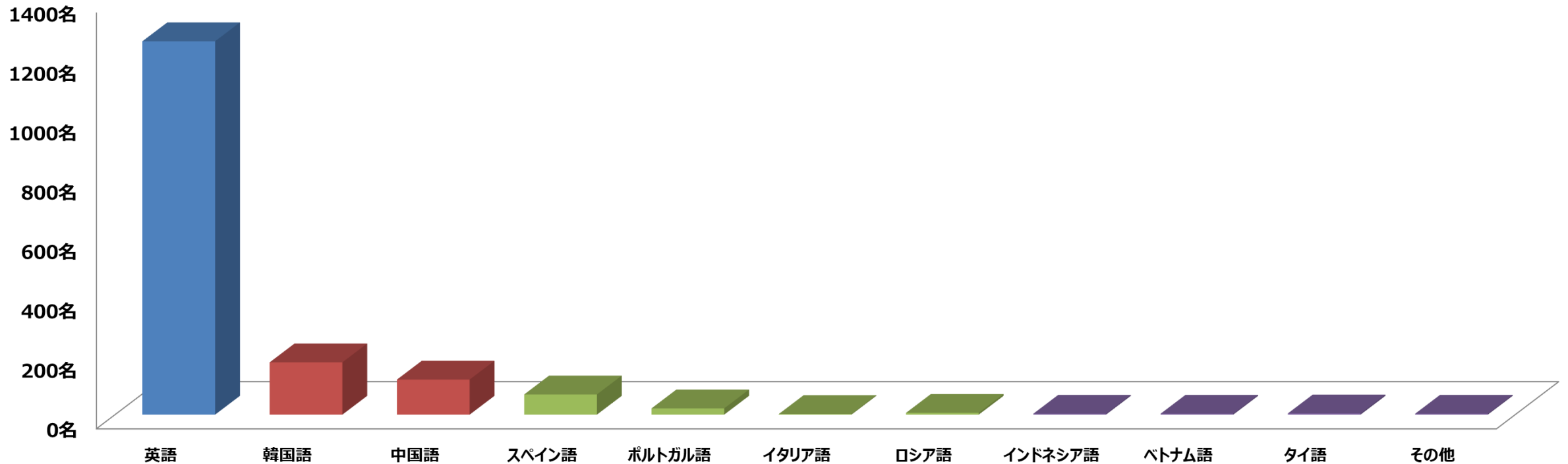


(全国外大連合通訳ボランティア育成支援事務局提供)

スポーツ通訳ボランティア言語別推移

(2007.9~2021.9)

言語	英語	韓国語	中国語	スペイン語	ポルトガル語	イタリア語	ロシア語	インドネシア語	ベトナム語	タイ語	その他
総計	1257名	176名	118名	68名	21名	2名	6名	3名	3名	4名	3名





平昌五輪ボランティア 活動から学んだこと



平昌五輪ボランティアに参加した全国外大生

大学名	人数
関西外国語大学	5
京都外国語大学	12
神田外語大学	67
神戸市外国語大学	2
東京外国語大学	3
長崎外国語大学	4
名古屋外国語大学	7
参加者合計	100名

参加言語	人数
英語	45
韓国語	34
中国語	11
スペイン語	3
ポルトガル語	1
フランス語	3
ロシア語	1
イタリア語	1
ドイツ語	1
参加者合計	100名

地域	人数
平昌	34
カンヌン	34
チョンソン	32
合計	100名

学年	人数
2年	45
3年	34
4年	19
1年	2
合計	100名

平昌五輪ボランティア参加までの背景

- ▶ 北朝鮮の核・ミサイル問題
- ▶ 日韓の歴史問題
- ▶ 急な北朝鮮の五輪参加表明
- ▶ ボランティア活動の対応

(ボランティア宿舎までの長距離、

マイナス20°を超える防寒対策、開会式のボイコット等)

- ▶ ノロウイルスやインフルエンザ等の感染症



平昌五輪ボランティアの教育的な効果

キーワード

学生の感想から抜粋



外国語を日常的に使用できる環境にない日本の学習者たちにとって、責任を伴う形で外国語を使う体験は、さらなる高度な言語能力獲得への大きな動機付け、学習意欲の向上につながっている。また、大学教育の現場において、貴重な実践の場となっており、グローバル人材として求められている語学・コミュニケーション力、異文化理解力を深めるきっかけとなる。

神田外語大学、朴（2015）

平昌五輪ボランティアに参加した動機（67名）

ボランティアセンターまたは通訳ボランティア支援事務局から依頼されたから

友人や友達に誘われたから

スポーツ選手や海外から訪問する外国人選手や役員の役に立ちたいから

異文化・国際交流に興味があるから

将来、この経験を就職活動に生かしたいから

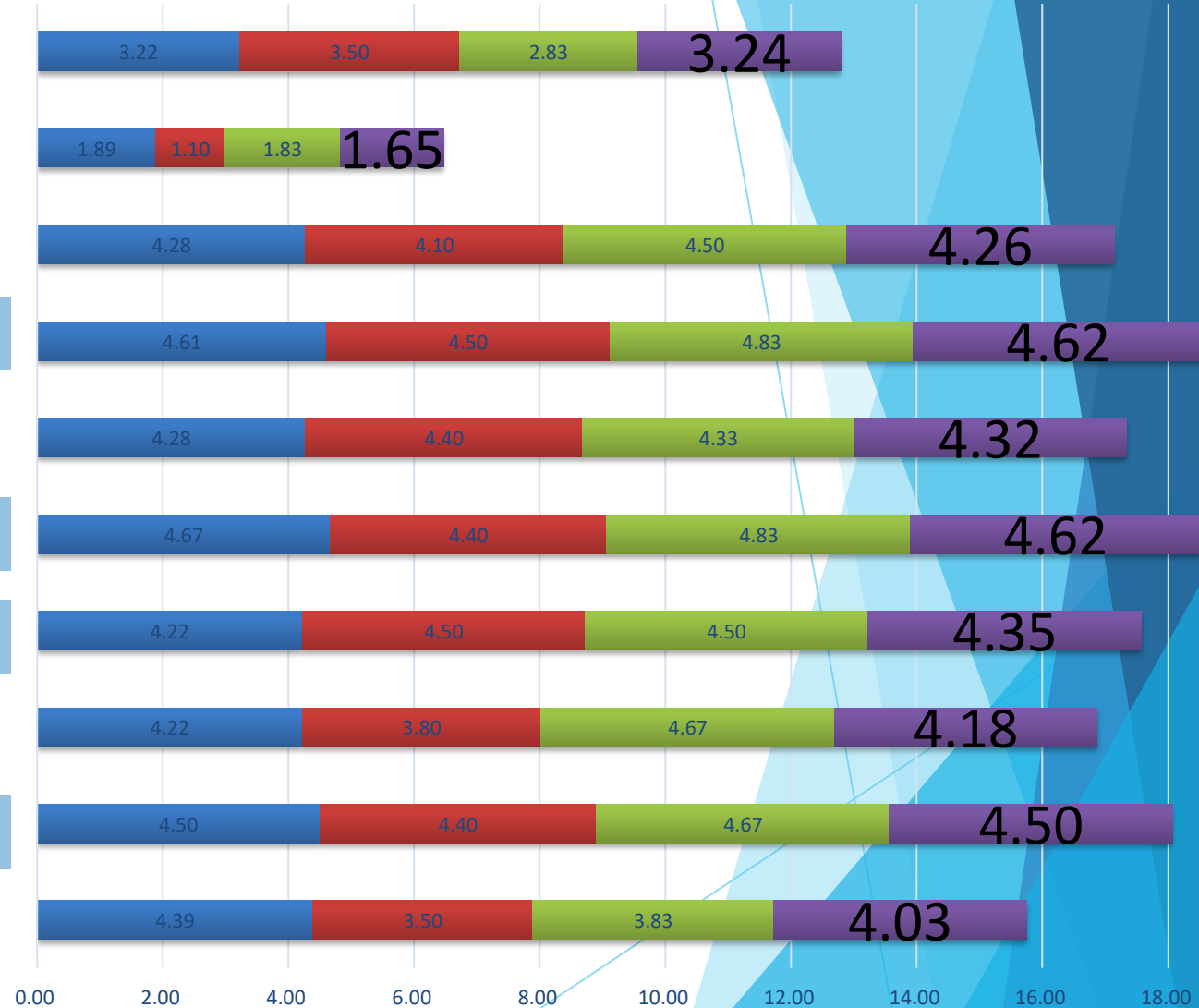
様々な人と出会い、人と働く喜びを感じたいから

授業で学んだ知識やスキルを実践的に試す機会だと思ったから

国際スポーツイベント運営や会議での通訳仕事に興味があるから

自分の語学力のレベルを向上させたいから

スポーツに興味があるから



■ 参加時の学年 AVARAGE2年 参加ボランティア名 ■ 参加時の学年 AVARAGE3年 参加ボランティア名
 ■ 参加時の学年 AVARAGE4年 参加ボランティア名 ■ 参加時の学年 AVARAGE全体 参加ボランティア名

平昌五輪ボランティアに参加後の自己評価（67名）

総合評価

選手のマナーについて

担当した活動の量

担当した活動の内容

ボランティアの活動配置について

ボランティアの待遇について

担当した活動の拘束時間について

ボランティアの活動期間について

大会当日のスタッフの指示

イベント主催側（事務局）スタッフの対応

今回の経験で得るものは何もなかった

今回の経験は私にとって非常に有意義だった

将来役に立つ技術を学ぶことができた

社会についての新しいことを学んだ

通訳の厳しさを知ることができた

ボランティア精神が理解できた

スポーツの素晴らしさや機能について理解が深まった

以前より異文化に対する興味や関心を持つようになった

学んでいる言語以外に他の言語も学びたい意欲が出てきた

参加する前より語学に対するモチベーションが向上した

相手が何を話したいか良く聞き、うまく伝えられるようになった

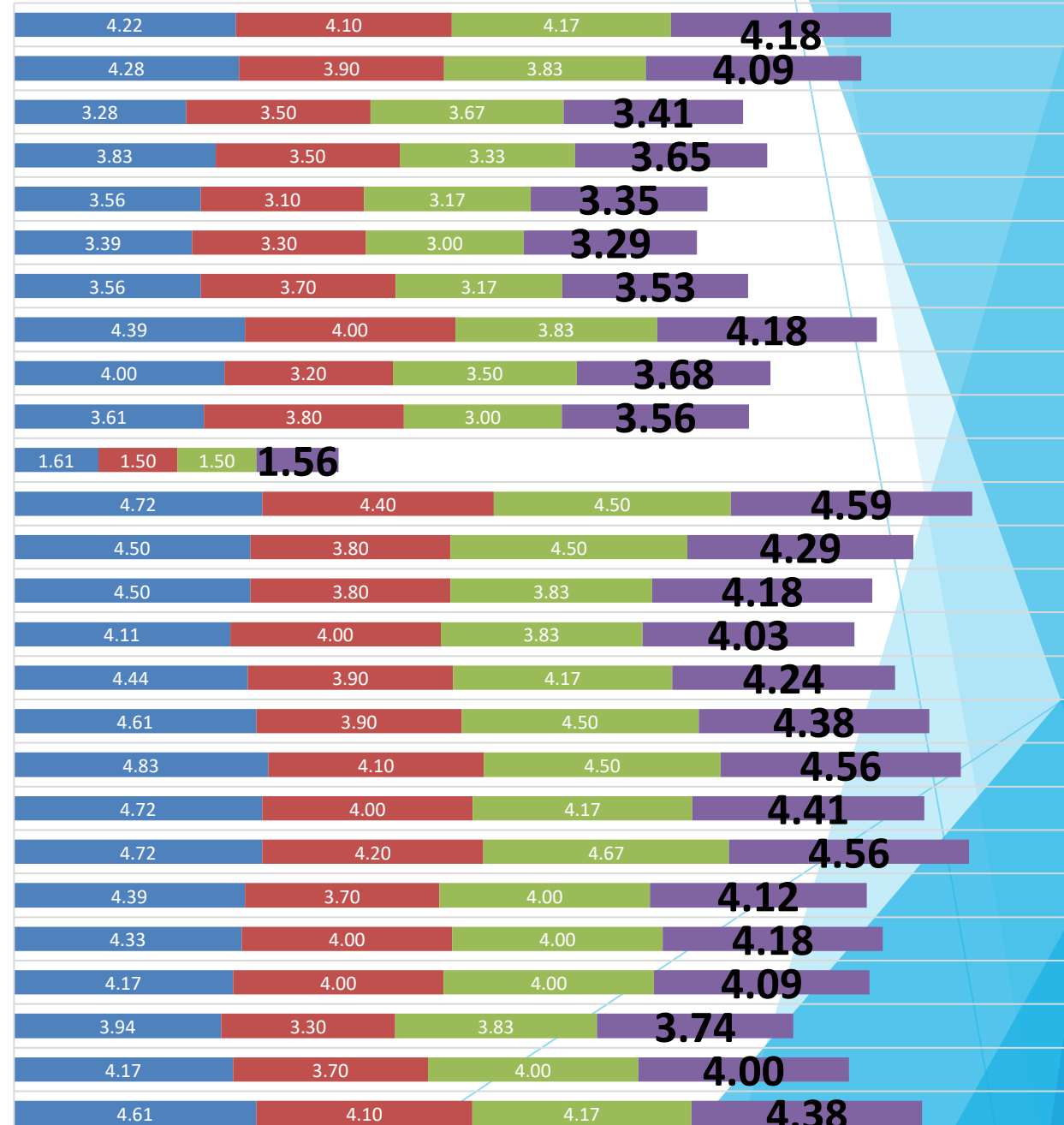
初めて出会う外国人に対して違和感や緊張感がなくなった

自分の性格がより積極的になった

日本語を外国語、外国語を日本語に訳す思考力が身に付いた

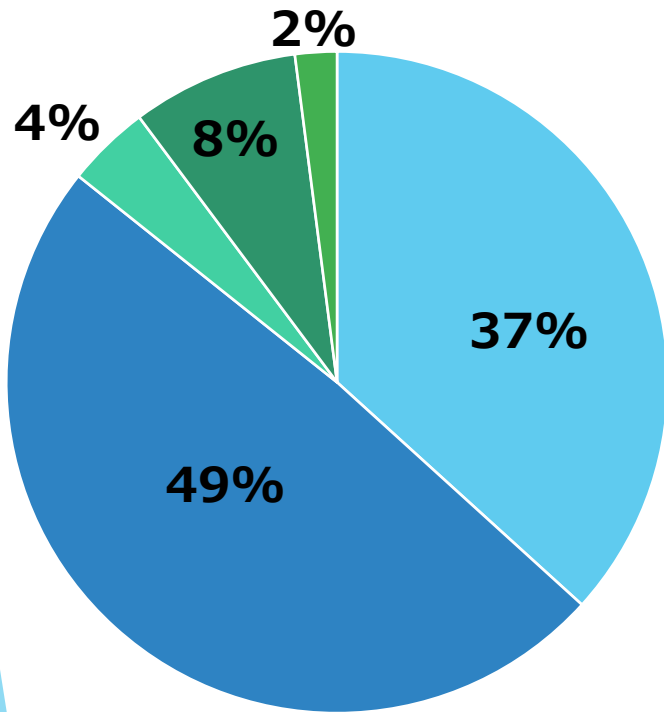
学んでいる言葉を適切に使える表現力が身に付いた

語学の勉強により取り組むようになった



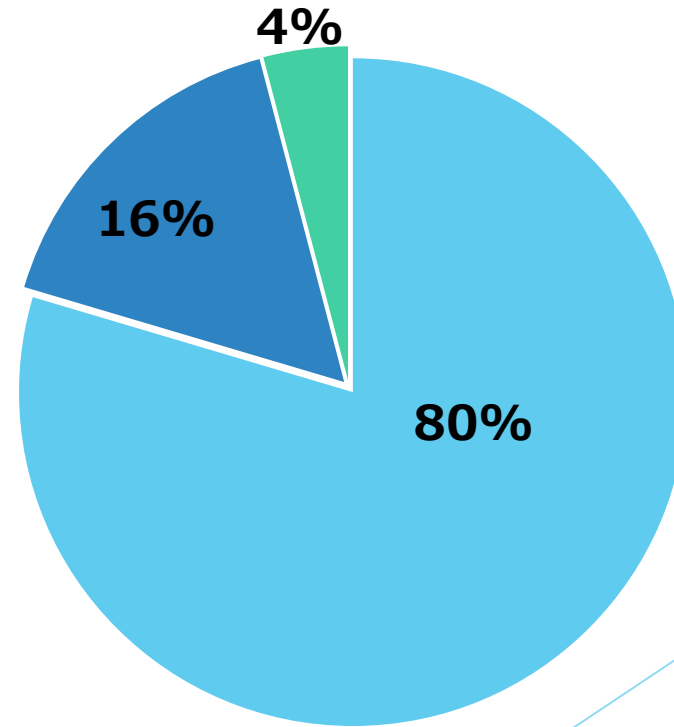
平昌五輪ボランティアにおける満足度（67回答）

活動満足度



- 5 (非常に満足している)
- 4 (満足している)
- 3 (どちらともいえない)
- 2 (満足していない)
- 1 (全く満足していない)

次回参加有無



- ぜひ参加したい
- どちらともいえない
- 全く参加したくない

参考文献

- ▶ 日本学術会議（2010）21世紀の大学に求められる教養・教育
- ▶ 文部省（2000）スポーツにおけるボランティア活動の実態等に関する調査研究協力者会議
- ▶ 渋谷由紀（2022）大学生のボランティア観の形成プロセスにかかわるー考察-通訳ボランティア活動における利他性と利己性に着目した質的分析ー、国際ボランティア学会ボランティア学研究 Vol.22:63-76.
- ▶ 兵藤智佳（2019）『ボランティアで学生は変わるのか』早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター編
- ▶ 河井亭（2012）ボランティア活動への参加によって学生の学習がどう異なるのか：全国大学生調査の分析から。国際ボランティア学会。ボランティア学研究12：91-102.
- ▶ サンドラ サヴィニョン（2009）『コミュニケーション能力ー理論と実践』法政大学出版局編
- ▶ 二宮雅也（2017）『スポーツボランティア 読本ー「支えるスポーツ」の魅力とは？』悠光堂
- ▶ 朴ジョンヨン（2011）国際スポーツイベントにおける通訳ボランティアの成果と課題 筑波大学大学院 人間総合科学研究科
- ▶ 柴田和子・大東貢生・大山治彦ほか（2004）ボランティア活動の動機における自発性と外発性。龍谷大学国際文化研究所紀要。龍谷大学国際社会文化研究所 6:119-131.
- ▶ スポーツ庁（2018）平成32年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会特別措置法及び平成31年ラグビーワールドカップ大会特別措置法の一部を改正する法律による国民の祝日に関する法律の特例措置等を踏まえた対応について（通知）